

令和元年度 基本評価調書

施策名	赤れんが庁舎の利用促進	所管部局	総務部	作成責任者	総務部長 佐藤 敏	施策コード	01 — 06
		照会先	総務部総務課ファンディAMENTグループ 011-231-4111(内)22-425	関係課	総務部総務課		

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
	3	人・地域	(4)	ふるさとの歴史・文化の保全と継承	B	先人から受け継いだ財産を活かした新たな展開	赤れんが庁舎入館者数	
北海道創生総合戦略		北海道 強靱化計画	B1121		知事公約			
特定分野別計画等								

1 目標等の設定

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 重要文化財である「赤れんが庁舎」について、様々な活用が期待されている。 赤れんが庁舎は1968(昭和43)年に復原改修を行って以来、建物や設備の老朽が進んでいるほか、耐震対策やバリアフリーなど、改善すべき課題がある。 	施策目標	<ul style="list-style-type: none"> 道民共有の貴重な財産である「赤れんが庁舎」の積極的な活用を図るとともに、芸術文化・観光の情報発信拠点として機能向上を図る。 文化財としての価値を損なわない範囲で、地震時の安定性確保や活用に応じた利便性向上に向け、修復及び改修方法や改修後の具体的な活用方法を検討する。
-------	---	------	--

施策の推進体制 (役割・取組等)	政策体系	役割等	政策体系	役割等	施策の予算額	
	3(4)B	【赤れんが庁舎リニューアル】 【道】「保存活用計画」及び「赤れんが庁舎リニューアル基本指針」を踏まえ、修復及び改修並びに活用方法等の検討				H29
					H30	87,835
					R1	131,440

今年度の取組	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	3(4)B	◎赤れんが庁舎の改修工事を行う。 ◎民間ノウハウを効果的に発揮できるように管理運営内容を検討する。 ◎リニューアルに関するパネル展の開催等により、道民の機運醸成を図る。		

前年度付加意見への対応状況(平成31年3月末時点)

<意見区分： 施策目標の達成状況・事務事業の有効性>

	事務事業 整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部局の対応(平成31年3月末時点)
施策 事務事業				

<事務事業評価 意見区分： 前年度評価結果への対応など>

	事務事業 整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部局の対応(平成31年3月末時点)
事務事業				

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			備考
		北海道 創生総合戦略	北海道 強靱化計画	知事公約	
3(4)B	赤れんが庁舎の耐震診断及び耐震補強案の策定を行うとともに、重要文化財としての保存や活用方法の基本的な方針である保存活用計画を平成28年度に策定し、翌平成29年度には基本設計書を作成。これらを踏まえ、平成30年度に地震時の安全性確保や利便性向上に向けた修復及び改修のため、実施設計を作成した。		B1121		
3(4)B	道民や専門家などから聴取した赤れんが庁舎改修後の活用に関する意見や保存活用計画を踏まえながら、歴史文化・観光の情報発信拠点として活用を図っていくため、平成30年度に赤れんが庁舎リニューアル基本指針を策定した。これらに基づき、今年度は管理運営について詳細な検討業務を行っている。		B1121		
3(4)B	赤れんが庁舎リニューアルに関するパネル展(みんなの赤れんがプロジェクトパネル展)をR1.9.3~5に赤れんが庁舎で開催。		B1121		

(2) その他の取組の成果等

国等要望・ 提案状況		施策に 関する 道民ニーズ	道民や専門家などからの意見を踏まえ策定した保存活用計画に基づき、平成30年度に「赤れんが庁舎リニューアル基本指針」を策定した。令和元年度は「みんなの赤れんがプロジェクトパネル展」を実施し、道民等の機運の醸成を図るとともに、管理運営手法について詳細検討を行う予定。
---------------	--	---------------------	---

平成31年度 基本評価調書

施策名	赤れんが庁舎の利用促進	施策コード	01 - 06
-----	-------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
--------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
3(4)B	赤れんが庁舎を文化・観光発信拠点として積極的に活用するため、環境生活部及び経済部と連携。	0315	環境生活部文化局文化振興課	赤れんが庁舎において、環境生活部では各種文化行事を実施するとともに、経済部では観光ボランティアによる案内を行うなど、赤れんが庁舎の積極的な活用を行った。
		-	経済部観光局	

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果

平成31年度 基本評価調書

施策名	赤れんが庁舎の利用促進	施策コード	01 - 06
-----	-------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
--------------------------------	-----------------

3 成果指標の設定 (H:平成、R:令和、大文字は年度、小文字は暦年)	3-2 成果指標の達成度合
-------------------------------------	---------------

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H30	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	-	最終年度	R7					
	赤れんが庁舎入館者数(人)	基準値	510,378	目標値	-	最終目標値	810,000	目標値	680,000		810,000	前庭を含めた適切な維持管理、各種行事の開催、観光ボランティアの活動などにより、増加した観光客を取り込むことができている。
								実績値	695,905		695,905	
								達成率	102.3%		85.9%	
[指標の説明] H26年度の赤れんが庁舎入館者数を基に道外客の目標増加率(59%増)と同程度の目標値とする。		根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式						
		北海道総合計画		3(4)B	増加	(実績値/目標値)×100						

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

令和元年度 基本評価調書

施策名	赤れんが庁舎の利用促進	施策コード	01 — 06
-----	-------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式1)

4 事務事業の設定

整理番号	政策体系	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業 費(千円)	31年度					フル コスト (千円)
						事業費 (千円)	うち 一般財源	執行体制			
								本庁	出先機関	人工計	
0122	3(4)B	庁舎等維持営繕費 (赤れんが庁舎改修事業)	赤れんが庁舎の改修に係る事務	総務課		131,440	29,849	0.8	0.0	0.8	137,816
計						0	131,440	0	0.8	0.0	0.8

令和元年度 基本評価調書

施策名	赤れんが庁舎の利用促進	施策コード	01 - 06
-----	-------------	-------	---------

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
3(4)B	1					A・B指標のみ	【赤れんが庁舎入館者数(A)】 前庭を含めた適切な維持管理、各種行事の開催、観光ボランティアの活動などにより、観光客を取り込むことができている。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	1	0	0	0	0	A・B指標のみ	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	赤れんが庁舎の積極的な活用、歴史文化・観光の情報発信拠点としての機能向上に向けた改修方法や改修後の具体的な活用方法の検討について、取組を推進していることが認められる。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか		
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	赤れんが庁舎の機能向上や利活用について、道民や専門家などから意見を聴取しており、施策の推進に役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	赤れんが庁舎や前庭におけるイベントの告知において、関係部と連携した成果が確認できる。
	施策の推進に当たり、地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか		
判 定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価と対応方針等

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
A・B指標のみ	a	概ね順調に展開

対応方針			関連する事務事業			関連する計画等		
対応方針番号	政策体系	内容	方向性	事務事業整理番号	事務事業名	北海道創生総合戦略	北海道強靱化計画	知事公約
①	3(4)B	道民共有の貴重な財産である「赤れんが庁舎」の積極的な活用を図るため、文化財としての価値を損なわない範囲で、地震時の安定性確保や活用に当たっての利便性向上に向け、改修を進めるとともに改修後の具体的な活用方法の検討を引き続き行う。					B1121	

前年度付加意見への対応状況(事務事業)

事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部署の対応(評価時点)

Action 施策・事務事業評価

7 評価結果の反映

(1) 一次評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<新たな取組等> ・道民共有の貴重な財産である「赤れんが庁舎」の積極的な活用を図り、地震時の安全性の確保や、歴史文化・観光の情報発信拠点としての機能向上を図るため、令和2年度当初予算において、改修工事費を計上した。 ・東京オリンピックのマラソン等が開催される期間のコース周辺の良好な景観を確保する観点などから、工期を1年延長する。 ・赤れんが庁舎のリニューアルについて周知拡大を図るため、道内各地においてパネル展等を実施するほか、民間ノウハウを効果的に発揮できる管理運営を目指すため、具体的な管理運営内容の検討を進める。	

(2) 二次評価結果への対応(付加意見への対応状況)

(3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計
反映結果							0

次年度新規事業 (予定)
0

整理番号	事務事業名	一次政策評価における方向性(再掲)	次年度の方向性(反映結果)